受験番号	

令和７年度

九州大学大学院医学系学府

保健学専攻修士課程

看 護 学 分 野

（問題紙・解答紙）

専 門 科 目

8月１９日（月）　９:００～１０:３０

【注意事項】

１．試験開始の指示があるまで、この問題紙・解答紙を開かないでください。

２．この問題紙・解答紙のページ数は、表紙を除いて３ページです。

３．問題に脱落や印刷不鮮明などがある場合は、直ちに申し出てください。

４．解答開始指示前に、表紙の所定欄に、また、解答開始指示後には、表紙以外のすべてのページの所定欄にも受験番号をはっきりと記入してください。

５．設問文の下に解答してください。

６．問題紙・解答紙は冊子のままで回収しますので、バラバラにしないでください。持ち帰ってはいけません。

７．試験終了までは退席できません。

８．質問がある場合、またはトイレ等の場合は、手を挙げてください。

令和７年度　修士課程　看護学分野専門科目

受験番号	

問１　近年、日本はさまざまな災害に見舞われています。
災害発生前、発生時、発生後において、看護職には人々の命や健康をまもる活動を行うことが期待されます。

1)以下の(　　　　　　)の中に当てはまる言葉を記載しなさい。

①災害急性期活動にできる、機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームのことを（　DMAT　　　　）と呼ぶ。*注　略語でよい

②発災時において、救命の観点からそのデッドラインと言われるのは、発災後から（　72　　　　）時間以内である。

③防災に関する国や地方自治体、関係団体などの責務や体制、計画や実施について定めた法律は（　災害対策基本　　）法　である。

④災害医療の基本として CSCATTT がよく知られている。

そのうちの 3Ts はトリアージのほか(　Treatment　治療　)(　Transport 搬送　)である。

*注　日本語でも英語でも可

2)発災後に避難所において発生しやすい疾患について、生活不活発病(廃用症候群)以外のものを 2 つ書きなさい。

エコノミークラス症候群(深部静脈血栓症)、感染症(インフルエンザ・感染性胃腸炎など)、低体温症/熱中症、食中毒、膀胱炎、うつ状態、PTSD、慢性疾患の増悪(糖尿病、高血圧、喘息等)

3)発災後に避難所生活をしている人におこりやすい疾患の一つに、生活不活発病(廃用症候群)がある。

①生活不活発病(廃用症候群)とはどのようなものか説明しなさい。

動かない状態が続くことより、心身の機能低下が生じた状態のこと。具体的には、筋力の低下、日常生活動作の困難が生じたり、うつ状態や認知機能の低下をきたしたりすることをいう。

②避難所においてできる生活不活発病の予防法を具体的に 2 つ書きなさい。

定期的に体操や負荷運動を行う(行ってもらう)
椅子やベッド等の配置を工夫し、移動しやすい空間づくりを行い、意識的に歩くようにする(してもらう)
避難所の中でできるなんらかの役割を担う(担ってもらうようにする)
避難所内でレクリエーションや他者との交流の機会があれば参加する(参加を促す)
など

*本人・支援者のどちらの立場で書いてもよい

受験番号	

問２　日本では慢性疾患の患者数の増加がみられています。

1)患者のセルフケアにおいては、セルフコントロールとセルフエフィカシーが重要とされています。それぞれについて説明しなさい。

① セルフコントロール：自己管理のことで、状況に左右されずに、自分の目標を達成できるように、自分自身の感情や行動をコントロールすること

② セルフエフィカシー：目標に対して、自分がそれができる、できる能力があると認識していること

2)患者のセルフエフィカシーを高めるために看護職としてできることを、４つ書きなさい。

・最初から高い目標ではなく、少しの努力でできそうな目標を設定し、段階的に目標を高めていく(成功体験)
・患者が目標を達成した場合は、褒めて意欲を引き出す(言語的説得)
・望ましい行動を実際に成功した人を役割モデルとして紹介する(モデリング)
・運動などを実際にやってみて、快の感情を体感してもらう(生理的情緒的高揚)
・望ましい状況が達成された場合のことをイメージしてもらう(想像的体験)
*(　)内の項目が理解できる記載であればよい

令和７年度　修士課程　看護学分野専門科目

受験番号	

問３　人々が介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるための、地域包括ケアシステムの推進が国をあげて行われています。

1)地域包括ケアシステムの実現のためには、自助・互助・共助・公助による支えが必要と言われています。それぞれについて説明しなさい。

①自助：自分で可能なことは、自分で行うこと

②互助：家族や友人、地域の他の人々と支えあい、助け合うこと

③共助：年金や介護保険、社会保険などの保険によるサービスのこと

④公助：自助・互助・共助では対応できない問題を解決するための社会福祉制度のこと。生活保護や虐待対策などがある。

2)上記の一つを取りあげ、看護職としてできることを書きなさい。

例）　取り上げた事項　<u>自助</u>

要介護状態の方や介護者に対して、できるだけ状態を悪化させない対処方法について指導を実施する。

例）　取り上げた事項　<u>互助</u>

・地域の中で対象者に適切な互助がある場合は、その仕組みを要介護者が使うことができるようにする。(例えば地域の見守りボランティアなど)

・地域の中で、互助の仕組みづくりを行う。例えば認知症の高齢者を近隣の人が見守る仕組みづくりを先導する。

例）取り上げた事項　<u>共助(公助)</u>

要介護状態の方の生活状況をアセスメントし、状況に応じて必要なサービス、例えば介護保険、(生活保護など)を本人の承諾の上で導入する。

*自助・互助・共助・公助の意味に合致し、かつ妥当な例であればよい